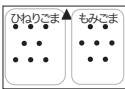


(部分)責任実習 指導計画

実習指導者
実習生氏名

印
印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	
		ホール	
主な活動 (題材)	伝承遊び (こま回し) ひねりごま・もみごま	実習 クラス	(4)歳児 (ゆり)組 男児(10)名 女児(10)名 計(20)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	・昨日の保育では「お正月」のうたを歌う、また、正月遊びの絵本の読み聞かせをした。 ・いろいろな遊びに興味をもち遊ぶ姿が見られる。	保育活動 のねらい	・昔ながらのお正月遊びに親しむ。 ・どのようにしたらこまが回るのか、工夫しながら遊びに取り組む。 ・こまを回すことができた達成感を味わう。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	○ホールを使用 ○準備物 ・ひねりごま 10個 ・もみごま 10個  ▲保育者 ○場所 ●子ども	・自由遊びの片づけが終わったら、手洗いを済ませ教室に集まる。 ○保育者の話を聞く ・お正月遊びを知る。 ・「こま」には様々な種類や模様があることを知る。 ・こまの名称を知る。 ・こまが回る姿を見る。 ・こまの回し方を知る。	・これからこま回しすることを伝え、手をきれいに洗って、教室に集まるよう声をかける。 ・全員が揃ったところで、お正月遊びがテーマの絵本の読み聞かせをする。 ・こまにはいろいろな種類や素材があることを説明する。 ○こま回しの手順を説明する(手順) ・こまの部位の名称(こま:頭・芯棒・面・胴・腹) ・こまの持ち方、回し方 ・「ひねりごま」と「もみごま」2種類のこま回し、くるくる回り模様が変化する姿や色々なこまに興味がもてるようにする。
10:10 (主活動) ※サブシート参照	○2つのグループに分かれてこま回しをする	・こまを取りに行く。 ○2つのグループに分かれる ・「ひねりごま」と「もみごま」を回して遊ぶ。 ・こまを回して模様が変化することを楽しむ。 ・友達とぶつからないように、安全に配慮しながら遊ぶ。 ・こまが回ったら保育者に伝える。 ・上手にできるようになった子どもは友達に教える姿が見られる。 ・こまを交換する。	・2つのグループに分かれて座るように促す。 ・「ひねりごま」と「もみごま」グループに分け、一人1個コマを渡す。 ・友達とぶつからないように声をかける。 ◎安全への配慮 ・こまを投げない。 ・こまを持って走らない。 ・友達と距離をとる。 ・友達が集中しているときに邪魔をしない。 ・別のグループの友達と、こまを交換するように促す。
10:25 (まとめ)	○こまの片づけ	・使ったこまを片づける。 ・手洗いをする。	・そろそろ片づけるように促す。
10:30			・子どもたちの片づけを手伝う。 ・片づけたら、手洗いをするよう伝える。
自己振り返り・評価等	・こまが上手に回せるようになり達成感を味わう。 ・いろいろなこまを回して夢中になって遊ぶ姿が見られる。		